観光地域づくり法人形成･確立計画

記入日：令和 5 年 7 月 31 日

１．観光地域づくり法人の組織

申請区分 ※該当するものを〇で囲むこと	広域連携ＤＭＯ･地域連携ＤＭＯ･地域ＤＭＯ	
観光地域づくり法人の名称	（一社）美祢市観光協会	
マネジメント・マーケティング対象とする区域	区域を構成する地方公共団体名 山口県美祢市	
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2	
設立時期	平成 22 年 6 月　美祢市観光協会　発足 平成 25 年 4 月　一般社団法人美祢市観光協会　設立	
事業年度	4 月 1 日から翌年 3 月 31 日までの 1 年間	
職員数	23 人【常勤 12 人、非常勤 11 人】	
代表者（トップ人材：法人の取組について対外的に最終的に責任を負う者） ※必ず記入すること	（氏名） 綿谷　敦朗 （出身組織名） 一社）美祢市観光協会	令和 3 年 6 月に当協会の会長に就任。 元美祢市観光振興課長の経歴を持ち、（一社）美祢市観光協会の会長として、地域との様々なパイプ役を担う。
データ分析に基づいたマーケティングに関する責任者（ＣＭＯ：チーフ・マーケティング・オフィサー ※必ず記入すること	（氏名） 藤里　佳久「専従」 （出身組織名） 一社）美祢市観光協会	平成 28 年 5 月より当協会に勤務。近畿日本ツーリストや湯田温泉の旅館での経験を活かし、プロモーションや観光地域マーケティングについて高い能力を持つ。
財務責任者（ＣＦＯ：チーフ・フィナンシャル・オフィサー） ※必ず記入すること	（氏名） 山本　真由美「専従」 （出身組織名） 一社）美祢市観光協会	令和 3 年 4 月より当協会に勤務。持続可能な運営のため、運営収支や財源確保に関する検討を行う。
各部門（例：プロモーション）の責任者（専門人材） ※各部門責任者のうち専従の者については、氏名の右	（氏名） 阿野　太助「専従」 （出身組織名） 一社）美祢市観光協会	平成 24 年 4 月より当協会に勤務。事務局長として培った豊富な知識を生かし、既存のプロモーションから、新しい時代のプロモーションなどを展開し、ターゲット毎に効果のあるピンポイントセールスをおこなう。

様式１

横に「専従」と記入すること		
各部門（例：旅行商品の造成･販売）の責任者（専門人材）	（氏名） 栗林　美一「専従」 （出身組織名） 一社）美祢市観光協会	平成 26 年 4 月より当協会に勤務。サンデン交通、及びサンデン旅行社での経験を活かし、美祢市の地旅などの企画・商品設定に高い能力を持つ。
連携する地方公共団体の担当部署名及び役割	美祢市 ・総務企画部地域振興課（公共交通対策、移住定住など） ・観光商工部観光政策課（観光振興計画、観光振興全般、観光事業の庶務経理、観光施設の維持管理など） ・観光商工部商工労働課（道の駅、第 3 セクター、企業誘致など） ・建設農林部六次産業振興推進室（ミネコレクション認定・商品開発など） ・教育委員会事務局世界ジオパーク推進課（ジオパーク活動推進など） ・教育委員会事務局文化財保護課（文化財保護活用、関係施設管理など） ・デジタル推進部デジタル推進課（広報広聴など） 山口県 ・観光スポーツ文化部観光政策課（観光政策の企画・立案、広域観光、観光施設整備・活用、マーケティング、プロモーション、インバウンド等） ・観光スポーツ文化部観光プロモーション推進室（国内観光旅客誘致など） ・観光スポーツ文化部インバウンド推進室（外国人観光客誘致など） ・観光スポーツ文化部交通政策課（鉄道、バス、海運、航空など）	
連携する事業者名及び役割	○当協会の会員（別途、名簿あり） ○当協会は以下の協議会に参画しており、必要に応じて連携した取り組みをおこなう。 ➢　宇部・美祢・山陽小野田産業観光推進協議会 ➢　ながと路観光連絡協議会（長門市・萩市・美祢市・阿武町・益田市・津和野町） ➢　長州路観光連絡会（下関市・長門市・美祢市・萩市） ➢　美祢市・山口市観光交流パートナー協議会 ➢　一社）山口県観光連盟（やまぐちＤＭＯ）　・・・情報発信 ➢　一社）せとうち観光推進機構（せとうちＤＭＯ）　・・・情報発信	
官民･産業間･地域間との持続可能な連携を図るための合意形成の仕組み	【該当する登録要件】 ①及び② （概要） ①当協会には多種多様な業界から会員 203 名（社・団体・個人／賛助会員含む）が参画している。年に一度の総会のほか、役員により形成する理事会において方向性の確認や情報共有をおこなっている。 ②美祢市が持つ地域資源を最大限に活用し、観光によるまちづくりを戦略的に推進していくため、協会会員、非会員を問わず様々な意見を取り入れ、現状に沿った取り組みを着実に執り行う。	
地域住民に対する観光地域づくりに関する意識啓発・参画促進の取組	○講演会、研修会、ワークショップなどの開催 おもてなし人材育成事業を実施、ご当地検定やおもてなし講座など、市民自らが観光アドバイザーとなるように質の向上に取り組んでいる。	

様式１

<table>
<tr><td>法人のこれまでの活動実績</td><td>

【活動の概要】

<table>
<tr><th>事業</th><th>実施概要</th></tr>
<tr><td>情報発信・プロモーション</td><td>・観光案内所の運営
・観光パンフレット、観光ＰＲツールの制作・配布
・地旅の企画・販売、旅行会社への営業活動
・各種事務局の運営
・国際交流活動（台湾：野柳／馬祖）</td></tr>
<tr><td>受入環境の整備</td><td>・新型コロナウイルス感染症対策
・GoTo トラベル（GoTo クーポン）の使用可能事業者の増大
・ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所（カテゴリー２）</td></tr>
<tr><td>観光資源の磨き上げ</td><td>・レンタサイクル／レンタル電気自動車／トゥクトゥクレンタル事業の強化</td></tr>
</table>

【定量的な評価】

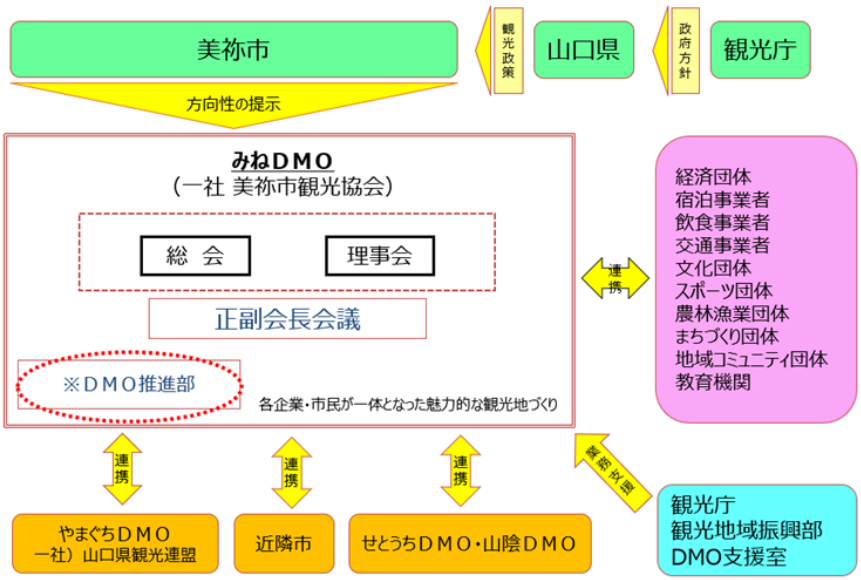
○市内宿泊施設　延べ宿泊者数
　R4 年度：43,395 人
○レンタサイクル事業の利用者数
　R4 年度：レンタサイクル貸出数 809 台
○地旅商品の利用者数
　R4 年度：主催ツアーの販売数 39 コース／参加申込者数 428 名
○ホームページアクセス数（セッション数）
　R4 年度：785,000 回

</td></tr>
<tr><td>実施体制
※地域の関係者との連携体制及び地域における合意形成の仕組みが分かる図表等を必ず記入すること（別添可）。</td><td>

【実施体制の概要】

一社）美祢市観光協会が母体となり、メンバーには、行政、宿泊業者、飲食業者のみならず、交通事業者、農業者など多様な関係者が参画するなど官民が密接に連携した運営を実施。

【実施体制図】

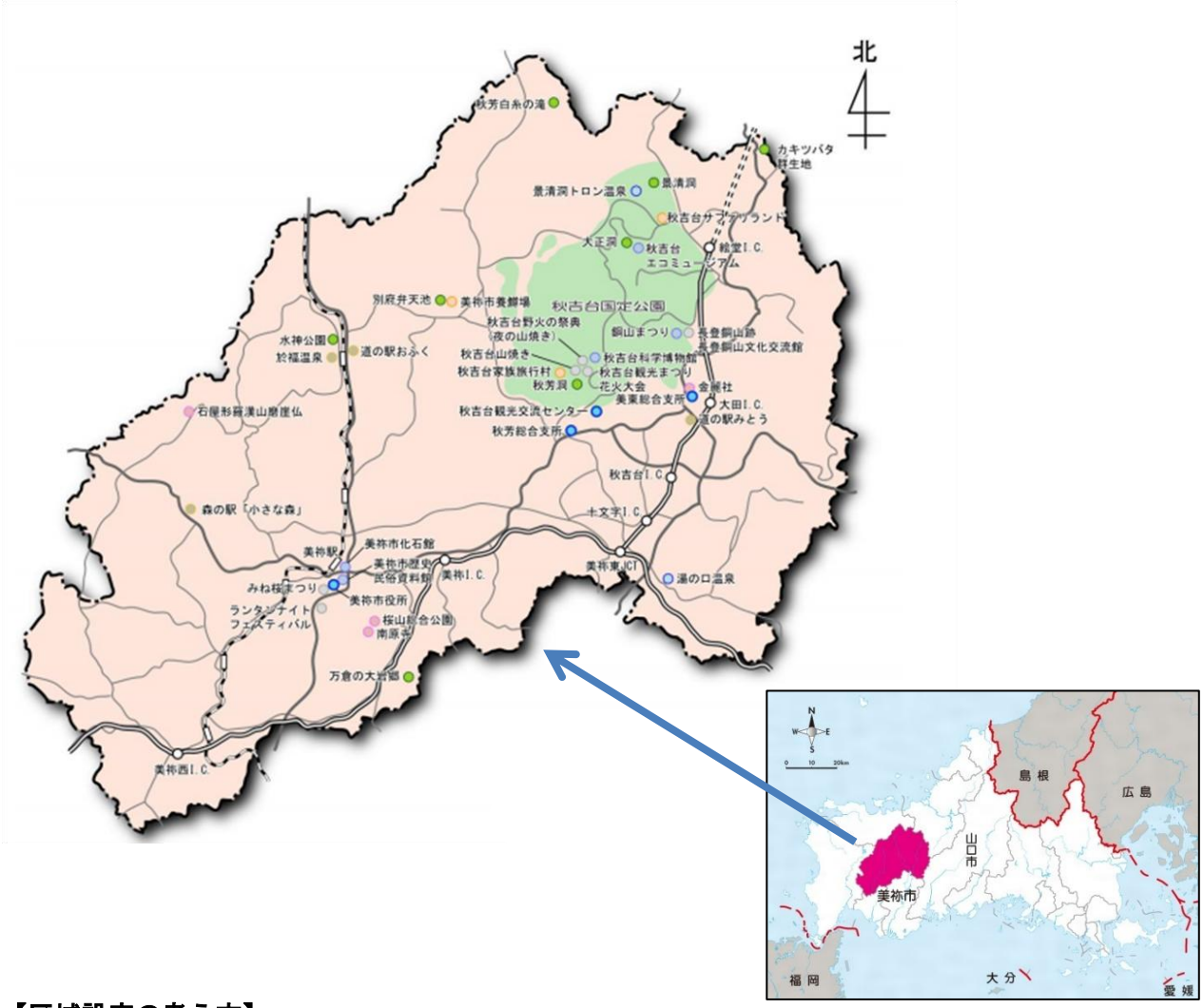


</td></tr>
</table>

様式１

２．観光地域づくり法人がマネジメント・マーケティングする区域

【区域の範囲が分かる図表を挿入】



【区域設定の考え方】

美祢市は山口県西部のほぼ中央に位置しており、県庁所在地である山口市、県下最大の中核市である下関市と隣接し、市内を縦断するＪＲ美祢線は瀬戸内側と日本海側をつなぐ交通の要所となっている。本市の大きな魅力のひとつに日本最大のカルスト台地「秋吉台」を有しており、悠久の歴史を感じる大自然や日本屈指の鍾乳洞である「秋芳洞」をはじめとする数多くの鍾乳洞など市内全域が日本ジオパークに認定されており、対象とする区域はその全てとする。

【観光客の実態等】

美祢市への観光客数

平成２７年　１，６１３千人
平成２８年　１，４８１千人
平成２９年　１，５５１千人
平成３０年　１，３９８千人
令和　元年　１，４４３千人
令和　２年　　９５２千人
令和　３年　　９７０千人
令和　４年　１，１６９千人

様式１

【観光資源：観光施設、商業施設、自然、文化、スポーツ、イベント等】

自　　然

秋吉台、秋芳洞、大正洞、景清洞、別府弁天池、万倉の大岩郷、カキツバタ群生地、
秋芳白糸の滝、水神公園、美祢さくら公園、美東河川親水公園

歴　　史

金麗社、石屋形羅漢山磨崖仏

レジャー

美祢市養鱒場、秋吉台サファリランド、秋吉台家族旅行村、秋吉台リフレッシュパーク、
ケイビングツアー、セグウェイ、レンタサイクル、コムス、トゥクトゥク

文化施設

Mine 秋吉台ジオパークセンター、秋吉台国際芸術村、長登銅山文化交流館、秋吉台科学博物館、
秋吉台エコミュージアム、美祢市歴史民俗資料館、美祢市化石館、芸術文化交流館 月影

商業施設

道の駅みとう、道の駅おふく、ぽんぽこの里、森の駅

温　　泉

於福温泉、景清洞トロン温泉、湯の口温泉

イベント

みね桜まつり、大正洞桜まつり、秋吉台観光まつり花火大会、美祢ランタンナイトフェスティバル、
秋吉台山焼き、里山フェス　ｉｎ　秋吉台、萌えサミット　ｉｎ　秋芳洞、銅山まつり、
そらから魅（み）る超絶景ｉｎ秋吉台、ＡＲＴ　ＣＩＲＣＵＩＴ　ＭＩＮＥ

スポーツ

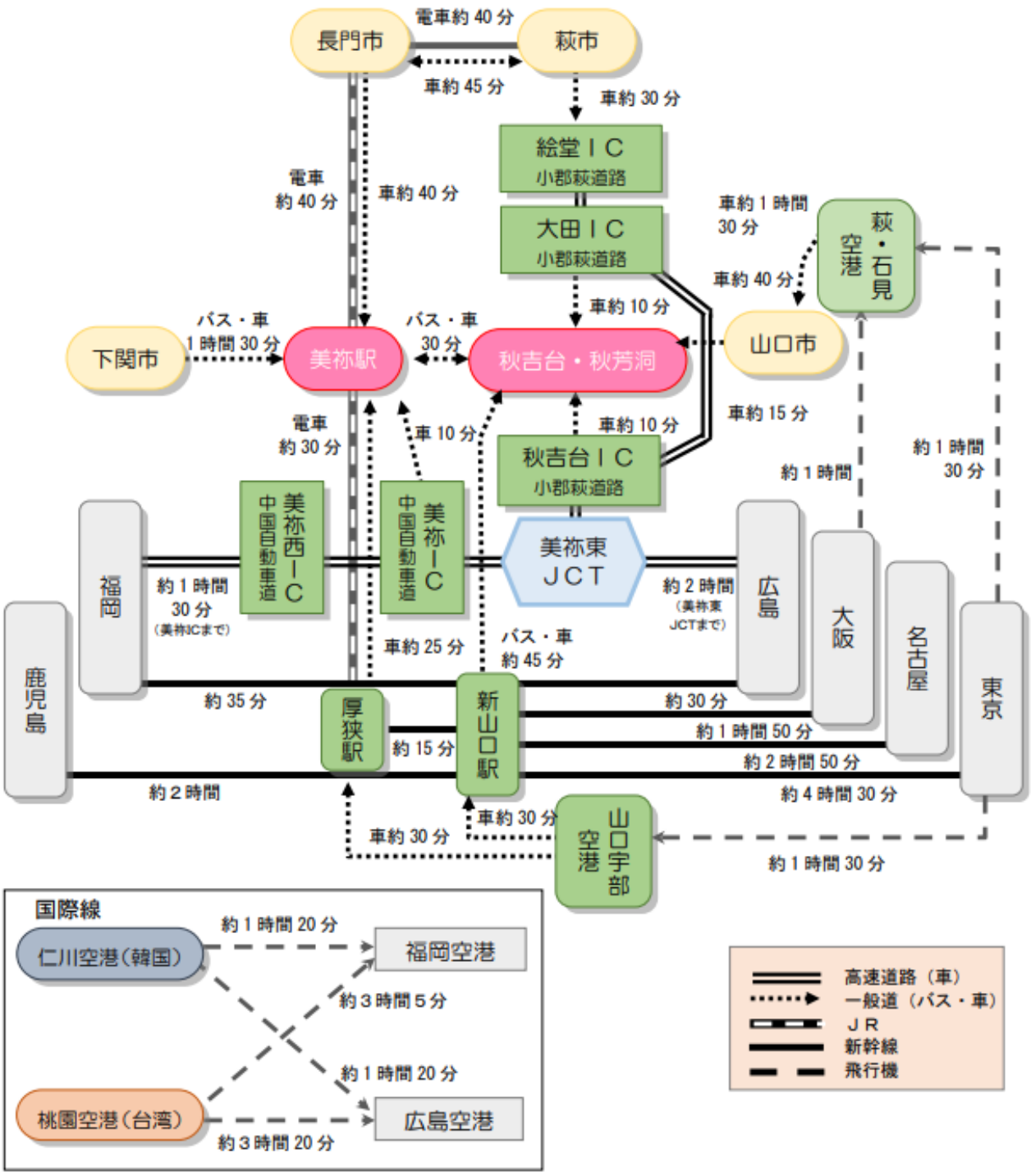
秋吉台カルストＴＲＡＩＬ　ＲＵＮ、美祢秋吉台ジオパークマラソン、ジオロゲイニング
みねすとろん、ＪＣＬ秋吉台カルストロードレース

【宿泊施設：域内分布、施設数、収容力、施設規模等】

市町村名	施設数	客室数	収容力	施設規模			
				～20 名	21～50 名	51～100 名	101 名～
美祢市	11	128	402	7	2	1	1

【利便性：区域までの交通、域内交通】

新幹線　新山口駅からはバス・車で４５分、同厚狭駅からはＪＲ美祢線が存在し、日本海方面へと縦断している。また山口宇部空港からも車で６０分と主要な玄関口からの距離は比較的短いものの、それぞれの発着本数や市内の各観光地等に繋がる輸送能力については、全く無いか脆弱であるという事が大きな課題である。



【外国人観光客への対応】
当地においては、基本的に英語・中国語対応の職員を配置しており、ＪＮＴＯ認定外国人観光案内所のカテゴリー２を取得している。更にポータブル翻訳機【ワールドスピーク】を設置し、１５０以上の言語にて対応が可能な環境を準備してある。またＪＮＴＯ等主催の研修会に職員を派遣し、案内所としてのスキルアップに努めている。

３．各種データ等の継続的な収集・分析

収集するデータ	収集の目的	収集方法
旅行消費額	来訪者の消費活動の動向を分析し、消費単価向上に繋げるため。	美祢市来訪者意識動態調査より実施。
延べ宿泊者数	宿泊者数の推移を把握するため。	山口県観光客動態調査より実施。
来訪者満足度	来訪者の満足（不満足）に繋がっている要因を分析し、戦略立案に繋げるため。	美祢市来訪者意識動態調査より実施。
リピーター率	リピーター顧客の動向を把握し、戦略立案に繋げるため。	美祢市来訪者意識動態調査より実施。
観光客数	事業効果測定、戦略の見直し、観光消費額の推計	山口県観光客動態調査より実施。
三洞入洞者数	事業効果測定、戦略の見直し	美祢市観光政策課より実績を収集。
レンタサイクル利用者数	事業効果測定、戦略の見直し	自主事業として利用実績を収集。
ＷＥＢサイトのアクセス状況	地域に対する顧客の関心度や施策の効果等を把握するため。	Google アナリティクス等のシステムを活用して実施。

４．戦略

（１）地域における観光を取り巻く背景

※地域経済、社会等の状況を踏まえた観光地域づくりの背景

美祢市の人口は減少傾向が続き、定住人口と生産年齢人口の減少に伴う経済力の低下が現れると予測されており、観光産業の振興による雇用の場の創出、生活圏の維持による定住人口の確保が重要な課題となっている。そのような状況の中、観光地域づくり法人（ＤＭＯ）が中心となったまちづくりを図ることにおいて、地域経済の活力や雇用を創出することを目的とした、観光振興による交流人口や関係人口の拡大につなげていくこととしている。

（２）地域の強みと弱み

様式１

	好影響	悪影響
内部環境	強み（Strengths） ●自然の遺産、国定公園であり特別天然記念物の指定を受ける「秋吉台」が存在する。 ●「秋芳洞」「大正洞」「景清洞」の雰囲気の異なる三洞を保有。 ●日本最大級のカルスト台地 ●各種のアクティビティ ●日本ジオパーク認定	弱み（Weaknesses） ●市内公共交通 ●宿泊施設数 ●飲食店舗数 ●後継者不足 ●代表する食、土産品が不十分 ●滞在時間が短い ●インバウンド対応の遅れ ●施設のキャッシュレス化
外部環境	機会（Opportunity） ●大阪万博開催 ●訪日外国人旅行者の増加 ●周辺観光地の人気上昇と知名度向上 ●ナナシマチ（山口県央連携都市圏域連携）においてのイベント開催	脅威（Threat） ●COVID-19 感染による影響 ●公共交通機関の減便等による提供座席数の減少 ●立地（ＪＲ・空港など主要駅からの二次交通） ●国内の人口減少 ●観光分野における地域間競争の激化 ●ミレニアル世代の大都市圏集中

※上記に加え、ＰＥＳＴ分析等の他のマーケティング分析手法を用いて分析を行っている場合は、その内容を記入（様式自由）。

（３）ターゲット

○第１ターゲット層 中国（香港・台湾）・韓国（＋タイ・ベトナム・シンガポール）を中心とした、アジア圏からの個人客（日本旅行のリピーター）
○選定の理由 これまでグループツアー等において複数回の訪日経験がある東アジア圏及び、成長著しい東南アジアからのリピーター客は、東京・富士山・京都・大阪のゴールデンルートから日本各地の観光地へとシフトしていることから。 ○取組方針 四季折々に楽しめる秋吉台の自然を中心とした魅力を、主にＳＮＳ等を活用した効果的なプロモーションとして展開する。
○第２ターゲット層 米、英、仏、独、豪を中心とした欧米個人客
○選定の理由 訪日インバウンドが日本ツアーにおいて期待する欲求の中で、当該ターゲット層に関しては自然・歴史などの当市が持つ観光素材にマッチする部分と、日本での滞在日数、及び１人当たりの旅行支出額の費目のなかで、交通費が大きいことから東京・関西地区からの移動距離・費用を考慮するなかで選択する。 ○取組方針 隣県である広島までは多くの当該インバウンドが訪問しているため、デジタルプロモーション等を実施し「旅マエ」に重ねて、「旅ナカ」での告知・誘導を実施する。
○第３ターゲット層 隣県（福岡・広島）を中心とした、首都圏・関西圏含む国内個人旅客
○選定の理由

インバウンド観光客の回復には時間が必要なため、国内旅客の誘引も考える。県外からの来訪比率が、平均して中国地方 35%、九州地方 20%と両地域で半数を超えることから、まずは両地域からの国内旅客の回復を見込む。また、状況を見ながら 400km 超となる関西以東の大都市圏からの誘客を図る。

〇取組方針

国内需要に対応するため、季節毎にリピートする観光コンテンツの商品化と、来訪時の滞在時間の延長による経済効果の波及を狙ったプロモーションを展開する。

（４）観光地域づくりのコンセプト

①コンセプト	観光立市をめざす、おもてなしのまち ～来訪者に感動を与える美祢ブランドの提供～
②コンセプトの考え方	おもてなしのまち美祢観光振興条例の趣旨であり、現行の「美祢市観光振興計画」の基本理念でもある『観光立市をめざす、おもてなしのまち』をコンセプトに据えた。 当地域には、日本最大級のカルスト台地【秋吉台】を有することによる優位性、特異性があり、地球の活動がもたらした様々な恵みを体感出来る「Mine 秋吉台ジオパーク」や、その豊かな地質が生み出した素材を使用した六次産品「ミネコレクション」などの『美祢ブランド』の提供による観光産業活動を高め、来訪者へ感動を実感していただく取り組みを行うことにより「おもてなしの心あふれる観光地」をめざす。 おもてなしを基調に、市民、観光事業者、観光関係団体、市内事業者、学術関係団体、行政が連携し、資源の活用と保全を行い、交流活動の一層の活性化をめざす。 美祢版ＤＭＯも美祢市の基本理念にならい、観光による地域まちづくりを推進していく。

５．関係者が実施する観光関連事業と戦略との整合性に関する調整・仕組み作り、プロモーション

項目	概要
戦略の多様な関係者との共有 ※頻度が分かるよう記入すること。	〇行政との協議、各実行委員会・協議会等において
	〇観光協会を中心として、行政や商工関係、観光・飲食関連、交通事業者等の各種団体と定期的（1～3 カ月に１回）にコミュニケーションの場を設け、情報・意見交換を行った上でＰＤＣＡサイクルに基づいた戦略を共有する
観光客に提供するサービスについて、維持･向上・評価する仕組みや体制の構築	〇案内サインやデジタルパンフレット等、情報発信ツールの多言語化への対応 〇市民レベルでの来訪観光客へのおもてなし対応の強化 〇ＪＮＴＯカテゴリー２を取得している総合観光案内所のサービスレベルの向上 〇アンケート調査の実施及び分析

観光客に対する地域一体となった戦略に基づく一元的な情報発信･プロモーション	○観光客向けホームページのブラッシュアップを図り、情報発信を充実させる ○新たな観光情報発信のための観光客向けプロモーション映像の制作 ○美祢市の総合的な観光情報の発信機能を受け持つ、観光協会のホームページからの情報発信や、ＳＮＳを利用したリアルタイムで効果的なプロモーションを実施 ○観光ガイド窓口の一元化

※各取組について、出来る限り具体的に記入すること。

６．ＫＰＩ（実績・目標）

※戦略や個別の取組を定期的に確認・改善するため、少なくとも今後３年間における明確な数値目標を記入すること。
※既に指標となりうる数値目標を設定している場合には、最大で過去３年間の実績も記入すること。

（１）必須ＫＰＩ

指標項目		2020 （Ｒ２） 年度	2021 （Ｒ３） 年度	2022 （Ｒ４） 年度	2023 （Ｒ５） 年度	2024 （Ｒ６） 年度	2025 （Ｒ７） 年度
●旅行消費額（百万円）	目標	未設定 （　）	7370 （　）	8720 （　）	10060 （　）	10478 （　）	10907 （　）
	実績	6380 （　）	7220 （　）	5300 （　）			
●延べ宿泊者数（千人）	目標	62.9 （　）	63.5 （　）	45.0 （　）	53.0 （　）	61.0 （　）	72.0 （　）
	実績	40.1 （　）	38.2 （　）	43.4 （　）			
●来訪者満足度（%）	目標	3.85 （　）	3.90 （　）	4.00 （　）	4.00 （　）	4.00 （　）	4.00 （　）
	実績	3.77 （　）	3.78 （　）	3.72 （　）			
●リピーター率（%）	目標	52 （　）	54 （　）	60 （　）	60 （　）	60 （　）	60 （　）
	実績	66.2 （　）	76 （　）	66 （　）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値

目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

様式１

【検討の経緯】
新たに調査を開始するのではなく、現在実施している調査を活用または、拡充することで対応することとした。
目標値については、県全体の観光トレンドによって増減する部分が大きいが、市で作成する他の諸施策と整合性を図り検討を行う。

【設定にあたっての考え方】
●旅行消費額
令和２年から実施。以前より市で実施している「来訪者意識・動態調査」に新たに項目を設定、調査し以下のように目標値を設定した。
●延べ宿泊者数
山口県が実施している「山口県の宿泊者及び観光客の動向」により調査する。平成 25 年に約 7 万人を記録していることから、令和 7 年に 7 万人となるよう年 2.4%の伸び率で目標値を設定する。
●来訪者満足度
従来から市で実施している「来訪者意識・動態調査」により継続して調査する。5 点満点の評価基準とし、全体的に満足度の底上げを図るため年 0.05 ポイントの上昇を目標値として設定する。
●リピーター率
従来から市で実施している「来訪者意識・動態調査」により継続して調査する。
市観光振興計画の数値目標と整合性を図る。

（２）その他の目標

指標項目		2020（Ｒ２）年度	2021（Ｒ３）年度	2022（Ｒ４）年度	2023（Ｒ５）年度	2024（Ｒ６）年度	2025（Ｒ７）年度
●観光客数（千人）	目標	1,450	1,500	1,175	1,238	1,301	1,366
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	952	970	1,169			
		(6)	（ ）	（ ）			
●三洞入洞者数（千人）	目標	500	520	375	426	436	446
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	229	247	382			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●レンタサイクル利用者数（人）	目標	330	500	600	700	800	900
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	496	570	809			
		（ ）	（ ）	（ ）			
●観光協会ＨＰアクセス数（千回）	目標	－	600	650	700	750	800
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績	595	651	785			
		（ ）	（ ）	（ ）			
	目標						
		（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）	（ ）
	実績						
		（ ）	（ ）	（ ）			

※括弧内は、訪日外国人旅行者に関する数値
※各指標項目の単位を記入すること。

様式１

指標項目及び目標数値の設定にあたっての検討の経緯及び考え方

【検討の経緯】

アフターコロナにおいて、邦人や在日外国人並びにインバウンド旅客のニーズ分析に関する、各種動向、嗜好、興味等の内容を深堀するため、その判断材料になるデータの収集と分析を実施していく。ＰＤＣＡサイクルの“Ｃチェック”のタイミングは、機動的に動くことを第一に考え、マーケット状況を踏まえ柔軟に対応していく。

【設定にあたっての考え方】

●観光客数

関係交流人口の基礎数となるため、設定する。

●三洞入洞者数

当市最大の有償観光施設である三洞窟（秋芳洞・大正洞・景清洞）を中心にＰＲすることで、周辺地域への波及効果を考慮し、今回、設定する。

●レンタサイクル利用者数

当地においての最大の魅力である秋吉台を中心とした各観光地を楽しんでいただく手段として、レンタサイクルを広くＰＲして、邦人・インバウンドともに取り込んでいく。

●観光協会ＨＰアクセス数

これまで日本語ページのみの閲覧数チェックであった状況から、英語を中心とした他言語でのアクセス数を把握し、「旅ナカ」インバウンドへの効果的な告知がおこなえるようなホームページの構築を目指す。

７．活動に係る運営費の額及び調達方法の見通し

※少なくとも今後３年間について、計画年度毎に（１）収入、（２）支出を記入すること。
※現に活動している法人にあっては、過去３年間の実績も記入すること。

（１）収入

年（年度）	総収入（円）	内訳（具体的に記入すること）	
2020（Ｒ２）年度（実績）	95,588,302（円）	【市からの補助金】	53,271,816
		【市からの委託料】	33,626,737
		【会費収入】	1,723,000
		【収益事業収入】	6,447,157
		【その他の収入】	519,592
2021（Ｒ３）年度（実績）	98,222,328（円）	【国からの補助金】	6,000,000
		【市からの補助金】	51,184,712
		【市からの委託料】	30,492,538
		【会費収入】	1,604,000
		【収益事業収入】	8,342,184
		【その他の収入】	598,894
2022（Ｒ４）年度（実績）	130,651,472（(円）	【国からの補助金】	12,021,900
		【市からの補助金】	63,439,066
		【市からの委託料】	42,577,580

様式１

		【会費収入】 1,309,000 【収益事業収入】 10,396,853 【その他の収入】 907,073
2023（Ｒ５） 年度（見込）	117,865,000（円）	【市からの補助金】 67,994,000 【市からの委託料】 38,071,000 【会費収入】 1,700,000 【収益事業収入】 9,200,000 【その他の収入】 900,000
2024（Ｒ６） 年度（見込）	112,100,000（円）	【市からの補助金】 62,000,000 【市からの委託料】 38,000,000 【会費収入】 1,700,000 【収益事業収入】 9,500,000 【その他の収入】 900,000
2025（Ｒ７） 年度（見込）	114,400,000（円）	【市からの補助金】 64,000,000 【市からの委託料】 38,000,000 【会費収入】 1,700,000 【収益事業収入】 9,800,000 【その他の収入】 900,000

（２）支出

年（年度）	総支出	内訳（具体的に記入すること）
2020（Ｒ２） 年度（実績）	87,450,082（円）	【一般管理費】 51,254,382 【事業費】 36,195,700 ・観光プロモーション費 (11,681,331) ・着地型観光企画費 (2,156,582) ・DMO におけるインバウンド対策事業 (5,696,819) ・その他支出 (16,660,968)
2021（Ｒ３） 年度（実績）	97,728,310（円）	【一般管理費】 55,355,284 【事業費】 42,373,026 ・観光プロモーション費 (10,644,212) ・着地型観光企画費 (2,369,070) ・おもてなし人材育成費 (1,610,000) ・観光地域づくり推進業務 (6,000,000) ・その他支出 (21,749,744)
2022（Ｒ４） 年度（実績）	124,899,712（円）	【一般管理費】 63,036,168 【事業費】 61,863,544 ・観光プロモーション費 (11,722,215) ・着地型観光企画費 (5,003,646) ・おもてなし人材育成費 (2,528,967)

		・観光地域づくり推進業務　(5,940,000) ・その他支出　(36,668,716)
2023（Ｒ５） 年度（見込）	117,865,000（円）	【一般管理費】　66,594,000 【事業費】　51,271,000 ・観光プロモーション費　(13,154,000) ・着地型観光企画費　(7,500,000) ・おもてなし人材育成費　(2,000,000) ・観光地域づくり推進業務　(6,000,000) ・その他支出　(22,617,000)
2024（Ｒ６） 年度（見込）	112,100,000（円）	【一般管理費】　70,000,000 【事業費】　42,100,000 ・観光プロモーション費　(12,000,000) ・着地型観光企画費　(8,000,000) ・おもてなし人材育成費　(2,000,000) ・観光地域づくり推進業務　(5,000,000) ・その他支出　(15,100,000)
2025（Ｒ７） 年度（見込）	114,400,000（円）	【一般管理費】　70,000,000 【事業費】　44,400,000 ・観光プロモーション費　(12,000,000) ・着地型観光企画費　(8,500,000) ・おもてなし人材育成費　(2,000,000) ・観光地域づくり推進業務　(4,000,000) ・その他支出　(17,900,000)

（３）自律的･継続的な活動に向けた運営資金確保の取組･方針

区域を構成する地方公共団体における宿泊税の導入、着地型旅行商品の造成･販売等の取組･方針を記載
〇宿泊税の導入予定なし
〇レンタサイクル事業・電動自動車・トゥクトゥクレンタル事業による収益の確保。
〇着地型観光企画運営事業（国内・海外観光客への地元の観光資源を活用したコンテンツ企画実施・販売）による収益の確保。
〇国への各助成金申請、県・市などの委託事業、各種イベント事務局受託による収益の確保。

８．観光地域づくり法人形成・確立に対する関係都道府県・市町村の意見

※設定対象区域の都道府県及び市町村が、本法人を当該都道府県・市町村における観光地域づくり法人として認める旨を含む意見を記入すること。
山口県美祢市は、一般社団法人美祢市観光協会が【観光地域づくり】の司令塔として、「地域の稼ぐ力」を引き出すとともに、その役割と機能を発揮していくことが必要であると考えている。

様式１

９．マネジメント・マーケティング対象区域が他の地域連携ＤＭＯ（県単位以外）や地域ＤＭＯと重複する場合の役割分担について（※重複しない場合は記載不要）

※他の地域連携ＤＭＯや地域ＤＭＯと重複はしていない。

１０．記入担当者連絡先

担当者氏名	藤里　佳久
担当部署名（役職）	事務局（事務局長）
郵便番号	754-0511
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2
電話番号（直通）	0837-62-0115
ＦＡＸ番号	0837-62-0899
Ｅ－ｍａｉｌ	fujisato@akiyoshidai.com

１１．関係する都道府県・市町村担当者連絡先

都道府県･市町村名	山口県・美祢市
担当者氏名	竹田　龍也
担当部署名（役職）	観光商工部観光政策課（課長）
郵便番号	754-0511
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2
電話番号（直通）	0837-62-1430
ＦＡＸ番号	0837-62-0105
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.mine.lg.jp

都道府県･市町村名	山口県・美祢市
担当者氏名	今西　光孝
担当部署名（役職）	観光商工部観光政策課（観光政策監）
郵便番号	754-0511
所在地	山口県美祢市秋芳町秋吉 3506-2
電話番号（直通）	0837-62-1430
ＦＡＸ番号	0837-62-0105
Ｅ－ｍａｉｌ	kankou@city.mine.lg.jp

（登録）【地域DMO】一般社団法人美祢市観光協会（みねDMO）

様式２

記入日： 令和5年7月31日

基礎情報

【山口県美祢市】
【設立時期】 平成25年4月1日
【設立経緯】
③区域の観光協会がDMOに移行
【代表者】 綿谷 敦朗
【マーケティング責任者（CMO）】 藤里 佳久
【財務責任者（CFO）】 山本 真由美
【職員数】 23人（常勤12人、非常勤11人）
【主な収入】
（市補助金63百万円 委託事業42百万円 収益事業10百万円（R04年度決算）
【総支出】
（事業費61百万円、一般管理費63百万円（R04年度決算）
【連携する主な事業者】
商工会、宿泊事業者、交通業者、飲食関係業者、小売業者、その他各種団体等

KPI（実績・目標）

※（ ）内は外国人に関するもの。

項目		2020（R2）年	2021（R3）年	2022（R4）年	2023（R5）年	2024（R6）年	2025（R7）年
旅行消費額（百万円）	目標	未設定（ ）	7370（ ）	8720（ ）	10060（ ）	10478（ ）	10907（ ）
	実績	638（ ）	7220（ ）	5300（ ）	—	—	—
延べ宿泊者数（千人）	目標	62.9（ ）	63.5（ ）	45（ ）	53（ ）	61（ ）	72（ ）
	実績	40.1（ ）	38.2（ ）	43.4（ ）	—	—	—
来訪者満足度（%）	目標	3.85（ ）	3.9（ ）	4（ ）	4（ ）	4（ ）	4（ ）
	実績	3.77（ ）	3.78（ ）	3.72（ ）	—	—	—
リピーター率（%）	目標	52（ ）	54（ ）	60（ ）	60（ ）	60（ ）	60（ ）
	実績	66.2（ ）	76（ ）	66（ ）	—	—	—

戦略

【主なターゲット】
①中国（台湾／香港）・韓国を中心としたアジア圏からの個人客（リピーター）
②欧米豪を中心とした個人客
③隣県（福岡・広島）を中心とした、首都圏・関西圏含む国内個人旅客
【ターゲットの誘客に向けた取組方針】
季節毎にリピートする観光コンテンツの商品化と、来訪時の滞在時間の延長による経済効果の波及を狙ったプロモーションを展開する
【観光地域づくりのコンセプト】
観光立市をめざす、おもてなしのまち
～来訪者に感動を与える美祢ブランドの提供～

具体的な取組

【観光資源の磨き上げ】
・レンタサイクル／レンタル電気自動車／トゥクトゥクレンタル事業の強化

【受入環境整備】
・新型コロナウイルス感染症対策
・GoToトラベル（GoToクーポン）の使用可能事業者の増大
・JNTO認定外国人観光案内所（カテゴリー2）

【情報発信・プロモーション】
・観光案内所の運営
・観光パンフレット、観光PRツールの制作・配布
・地旅の企画・販売、旅行会社への営業活動
・各種事務局の運営
・国際交流活動（台湾：野柳／馬祖）

【その他】
・食の活用による受入体制整備